



### 遊んだあとに親子で利用

大田原市立図書館の本館にあたる大田原図書館は、(株)大田原まちづくりカンパニーが運営する複合施設「トコトコ大田原」の4階にあります。同施設には図書館のほかに、1階にショッピングフロア、2階、3階に子ども未来館、3階に市民交流センターなどがあり、中心市街地の活性化や交流などを目的にしている施設です。

大田原図書館は「トコトコ大田原」のオープンに合わせ、平成25年に旧図書館から移転しました。飯島敬治館長は

## 複合施設の中で相乗効果を生む vol.1

### 大田原市立図書館 データベース導入事例

「買い物や交流センターに訪れた大人たち、子ども未来館で遊んだあとの子どもたちなどに、その流れの中で利用してもらえるようになり、相乗効果が生まれています」と語ります。子どもの遊び場があるということで、近隣の市町から訪れる人も多いいいます。

運営全体を統括する大田原市教育



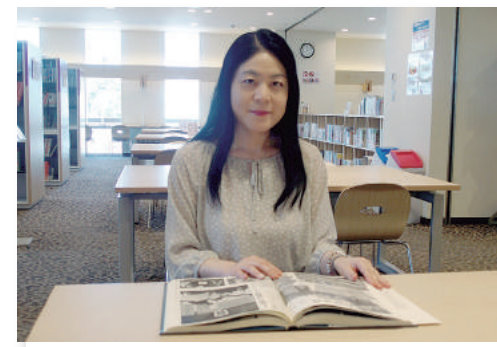
「発信する図書館に」と飯島敬治館長(右)と秋山研一副館長

委員会事務局教育部生涯教育課係長の金丸直美さんも「さらに多くのお客様に来ていただけるように、イベントなど開催にも力を入れていきたいと考えています」と今後の運営を見通します。

### 情報を発信する図書館に

下野新聞データベースは移転と同時に導入しました。窓口申請すれば誰でも自由に利用できます。「新聞の最大の利点は信頼性です。あいまいな情報がネットにあふれる中、特に若い人たちが本当の情報を入手する手段にしてほしい。就活などにも役立つと思います」と秋山研一副館長。

飯島館長は「これまでの図書館は情



「イベントなども充実したい」と市教委の金丸直美さん

報を集めることは得意でしたが、なかなか発信ができませんでした。データベースはそのための絶好のツールになると思います」。自宅にいて読める「電子図書館」の充実も図っており、分館の黒羽図書館、湯津上庁舎図書室とともに、情報の発信基地となる図書館を目指します。

### 下野新聞データベース

地域密着の栃木県内ニュースから国内外の経済情報を検索可能!



毎日150件以上更新/収録記事約70万件以上(下野新聞)

下野新聞が、国内最大級の会員制ビジネスデータベースサービス「日経テレコン」とのタイアップにより提供する「下野新聞データベースplus日経テレコン」。下野新聞ならではの地域に密着したきめ細やかな記事と、国内外のダイナミックな動きを幅広く伝える日経各紙の記事を横断的に検索することができます。

地元密着の下野新聞、国内外の経済情報を網羅する日本経済新聞の情報を同時に検索

下野新聞データベース plus 日経テレコン

お問い合わせ 下野新聞社デジタル推進室 Tel.028-625-1041 (平日、土曜9:30-17:30)

下野 日経

検索

<http://www.shimotsuke.co.jp/>

PR 下野新聞社